（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	イーハトーブ養育センター			
○保護者評価実施期間	令和7年12月22日	～	令和8年1月16日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	43	（回答者数）	43
○従業者評価実施期間	令和7年12月22日	～	令和8年1月20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	14	（回答者数）	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達や特性に合わせ、構造化された環境作りや支援の提供をしています。子どもや保護者のニーズに配慮した個別支援計画を基に支援の提供をしています。	定期的に職員研修を行う等、職員のスキルアップを図っています。また、必要に応じて、個別支援会議の機会を持ち、支援の統一化を目指しています。	今年度も保護者の協力をいただき、研修の機会を作ることができました。今後も職員のスキルアップを図るために研修の機会を作っていきます。また、外部研修へも積極的に参加していきたいです。
2	地域の中核となる児童発達支援センターとして、地域の保育園、幼稚園、こども園をはじめ、関係機関との連携を密にとり、地域で育つ子どもたちに必要な支援を提供します。	関係機関と連携した支援会議を積極的に行っています。当センターの行事等に関係機関を招待し、活動の様子から情報共有をし、地域での支援体制を整えることを目指しています。	関係機関を施設内研修にお招きする等、地域全体でお子さんをサポートする体制を整えていきたいです。
3	感覚統合室やスヌーズレンルーム等、障がいの特性に配慮した活動ができる設備が整っています。	感覚面や身体機能への配慮が必要な子どもに対して、個別に対応できるよう、必要に応じて設備の利用ができます。	発達や特性に合わせて根拠のある支援が提供できるよう、研修等を積極的に行い、職員のスキルアップ、専門性を高めていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の利用をご希望されている方が多くいらっしゃいますが、現時点で利用をお待ちいただいている方がおります。	療育を必要としている方のニーズに対応できかねる心苦しさがありますが、職員体制、活動スペースの不足により、受け入れが難しいことが現状です。	外来相談やふたば教室、保育所等訪問支援を利用していただき、支援をつないでいます。
2	支援スペースや設備が不足が課題になることがあります。	ほとんどのお子さんが地域の保育施設等と併行して利用しているため、日々の利用人数に変動があります。人数やお子さん同士の相性によっては同じ空間で活動することに困難を生じる場合もあります。	活動やお子さんの特性に合わせた小集団のグループ分けやパーテーションを利用する等スペースを確保する工夫をしています。
3	きょうだい支援については、面談等でお話をお聞きすることはありますが、改めて交流などを設定することはありませんでした。	少子化により、きょうだいが少なくなったことや、きょうだいが参加できる行事を設定することが難しいことが現状です。	きょうだい支援の観点から、きょうだいも参加しやすい行事や、家庭からのきょうだいに関する相談などが話しやすい環境を作りたいと思います。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	イーハトーブ養育センター

公表日　令和8年3月10日

利用児童数　43　回収数　43

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42			1	・広々としている。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	41			2	・安心できる人数です。 ・人が多いので、安心して預けられます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	43					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43				・心地よく過ごせている。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	43				・よく理解してくれている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	41			2	・とても合っている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	42			1	・きちんとこちらのニーズに合った計画になっている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42			1	・とても満足な支援内容になっている。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43				・きちんと計画に沿った支援になっている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40	2		1	・その子の今に合ったプログラムになっている。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	34	3	2	4	・機会はあったが、もう少し増やしたほうがいいと思う。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43				・きちんと説明された。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43				・きちんと説明された。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42	1			・定期的に行われていた。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	43				・お便り帳に細かく記載、また送迎時にもお話しいただいています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42	1			・定期的に面談も行われていて、とても支援されている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43				・いつも丁寧に支援していただいています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31	7		5	・保護者向けの交流の機会はありますが、兄弟同士に関しては特に設けられていないと思うので、要望があれば検討しても良いのかなと思います。 ・兄妹への支援はあまりないように感じますが、オープンなイベントには兄妹も参加させてもらっていますので、感謝しております。 ・保護者同士の交流はあったが、兄弟への支援を増やしてほしい。	・ご意見ありがとうございます。きょうだい支援については、行事参加も含めて、今後検討させていただきたいと思います。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	1			・個別面談を設けていただくなど迅速に対応してくださいます。 ・きちんと行われていた。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40				・十分に配慮されていた。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	39			1	・きちんと発信されていた。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40				・十分にされている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	3		6	・マニュアルについての説明があったか覚えていません。	・イーハトーブ養育センターには各種マニュアルがありますが、周知の仕方については、紙資料以外の方法も検討したいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	1		4	・十分に行われている。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	38	1		1	・災害時などの対応について、一度周知いただけると助かります。 ・十分に行われている。	・ご意見ありがとうございます。災害時の対応については、改めてお伝えさせていただくようにいたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39			1	・十分に対応されている。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	40				・安心している。 ・毎週安心して登園している。 ・子どもが楽しそうにしているのが伝わってくるので安心。	・ご評価いただきありがとうございます。今後とも安心できる事業所つくりを心がけていただきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	40				・センターに楽しみだね！と言いながら通所しています。 ・とても楽しみにしている。	・ご評価いただきありがとうございます。今後とも子どもたちが楽しいと思える活動を研究してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	1			・大変満足しています。 ・とても満足しています。先生方には感謝です。	・ご評価いただきありがとうございます。今後ともご満足いただけるよう、支援についての研鑽を重ねてまいります。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	イーハトーブ養育センター

公表日　令和8年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	4	・利用児が多い時は、空きスペースの活用を検討しています。また、スケジュールを工夫し、活動内容を考え実践していると思います。 ・利用人数により、活動を分け少人数で活動をしている。 ・指導訓練室以外のスペースの利用を打ち合わせで調整している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0		・活動内容を検討した際に、必要な場合がありました。 ・時々、職員の休憩時の人員が足りないと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0	・馴れ合いにならないよう、常に相談や連絡、報告が必要であると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0	・整理整頓を心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	13	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	0	・クラス内での情報共有を密にしています。全体への周知も心がけています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	・支援者の相談によく耳を傾けていただき、改善のために努めてくださっていると思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	14	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0	・スケジュールや時間配分を工夫し、固定されないよう担任間で話し合っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	1		・地域にセンターや事業所が少なく、連携の機会があまりない。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	0	・研修に参加させていただいたことで、支援や計画を立てる際に生かすことができました。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	13	1	・全員が参加しているわけではないが、情報共有している。	
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	0	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	14	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0	・保護者さん向けの研修を支援者も知る機会があり良かったです。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	・電話対応や保護者さんと個別にお話をする機会を作るように心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	1	・コロナ後、少しずつ外部の方にも参加していただけるようにしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	14	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0		